

2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに決算説明動画を掲載予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,760	27.3	868	37.5	907	40.3	569	31.9
2020年9月期第2四半期	3,738	16.2	631	9.6	646	7.7	431	9.6

（注）包括利益 2021年9月期第2四半期 569百万円（39.2%） 2020年9月期第2四半期 409百万円（3.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	56.22	—
2020年9月期第2四半期	42.62	—

（注）「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	6,336	4,719	74.5
2020年9月期	5,642	4,327	76.6

（参考）自己資本 2021年9月期第2四半期 4,719百万円 2020年9月期 4,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年9月期の1株当たりの配当金につきましては、現在未定です。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,621	22.6	1,737	29.7	1,795	30.1	1,096	11.9	108.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	10,405,800株	2020年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	275,382株	2020年9月期	278,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	10,128,084株	2020年9月期2Q	10,127,485株

（注1）期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明動画の入手方法）

決算補足説明資料及び決算説明動画につきましては、後日当社ホームページに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により景気は下押し圧力の強い状態となり、先行きは非常に不透明な状況となっております。

これを受け、国内のインターネット関連市場は、動画視聴及びEC（インターネット通販）等の巣ごもり消費が拡大し、引き続き市場成長が継続しております。加えて、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

その一方で、リモートワークの拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりや、IoT（※1）によりあらゆるものがリスクにさらされる等、インターネットセキュリティの課題は年々深刻化しております。そのため、全てのインターネットユーザーが安心してインターネットを利用できるよう、投稿監視、カスタマーサポート、及びサイバーセキュリティへの関心は増加しております。

用語説明

（※1）Internet of Things（モノのインターネット）の略称。建物、車及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。

加えて、投稿監視業務はインターネット世界の安心を、サイバーセキュリティ業務はインターネット世界の安全を実現するために必要不可欠であり、SDGs（ESG）に代表される社会課題の解決、及び持続可能な社会の構築において当社の存在意義は一層高まっております。

その中で、サイバーセキュリティ領域の強化を目的に、2020年10月にソフトウェア型WAF（※2）の開発を行う株式会社ジェイピー・セキュアを子会社化いたしました。加えて、クラウド型及び次世代型WAFの開発を行う株式会社グレスアベイルを完全子会社化し、自社開発によるWAFのフルラインナップを揃えております。

用語説明

（※2）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,760,682千円（前年同期比27.3%増）、営業利益は868,430千円（前年同期比37.5%増）、経常利益は907,473千円（前年同期比40.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は569,357千円（前年同期比31.9%増）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。なお、サイバーセキュリティ業務の拡大に伴い、その他業務の売上をサイバーセキュリティ業務と分けております。また、前年度のその他業務の売上を組み替えて表示しております。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートはソーシャルWebサービス（※3）等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛によって、インターネットサービスは需要が増えたもの、減少したもの等、大小様々な影響が出ております。

その中で、当社はコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。これまでに蓄積したノウハウとAIの活用により高効率を実現し、売上を拡大いたしました。

その結果、売上高は2,422,296千円（前年同期比64.5%増）となりました。

用語説明

（※3）SNSやブログ等のソーシャルメディアや、ソーシャルゲーム、Eコマース等の、個人同士双方向のコミュニケーションが介在する全てのインターネットメディア。

② ゲームサポート

ゲームサポートはソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

サービスラインナップの拡大を目的に、ローカライズされたゲームの翻訳テキストが、世界観に合わない違和感のある文章・単語が使用されていないか等を検証する「LQAサービス」を開始いたしました。

その結果、売上高は1,124,072千円（前年同期比11.3%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスはインターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

成長が続く動画市場において、動画に掲載される広告に対する審査に注力いたしました。

その結果、売上高は566,908千円（前年同期比20.1%増）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは主にWAF及び脆弱性診断を提供しております。

株式会社ジェイピー・セキュアは100万サイトを超える導入実績がある国内利用サイト数1位のソフトウェア型WAFを提供いたしました。株式会社グレスアベイルは国内初のコンテナ型WAFである新開発の「GUARDIAX」の拡販に向け機能強化に取り組みました。

また、脆弱性診断におきましては、EGセキュアソリューションズ株式会社が、株式会社グレスアベイル及び株式会社ジェイピー・セキュアとのグループシナジーを強みに、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は315,293千円（前年同期比50.4%増）となりました。

⑤ その他

その他は主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。

EGテストサービス株式会社が、既存顧客への深耕営業や新規開拓を目指してまいりました。

その結果、売上高は332,111千円（前年同期比4.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,365,809千円となり、前連結会計年度末における流動資産4,528,418千円に対し、162,608千円の減少（前連結会計年度末比3.6%減）となりました。

これは主に、現金及び預金が225,578千円減少した一方、売掛金が29,602千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,970,437千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,114,076千円に対し、856,361千円の増加（前連結会計年度末比76.9%増）となりました。

これは主にのれんが604,858千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、6,336,247千円（前連結会計年度末比12.3%増）となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,616,866千円となり、前連結会計年度末における負債1,314,770千円に対し、302,095千円の増加（前連結会計年度末比23.0%増）となりました。

これは主に、賞与引当金が65,162千円増加、流動負債のその他が82,549千円増加及び固定負債のその他が110,485千円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、4,719,381千円となり、前連結会計年度末における純資産4,327,724千円に対し、391,656千円の増加（前連結会計年度末比9.0%増）となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益569,357千円を計上した一方、子会社株式の追加取得により資本剰余金が74,367千円の減少したこと及び剰余金の配当102,882千円を実施したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は3,253,486千円となり、前連結会計年度末における資金3,479,065千円に対し、225,578千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は654,618千円（前年同四半期は478,969千円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上907,816千円があったものの、法人税等の支払額314,589千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出された資金は703,510千円（前年同四半期は115,548千円の支出）となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出721,876千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出された資金は176,543千円（前年同四半期は173,507千円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払額99,599千円及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出77,500千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

市場環境と直近の業績動向等を踏まえて当社グループの業績予測を精査した結果、2020年11月4日に公表した当年度の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（2021年5月10日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,479,065	3,253,486
売掛金	983,633	1,013,235
仕掛品	3,292	4,034
その他	62,427	95,052
流動資産合計	4,528,418	4,365,809
固定資産		
有形固定資産	517,693	505,575
無形固定資産		
のれん	155,707	760,565
ソフトウェア	30,396	25,726
その他	311	230,993
無形固定資産合計	186,415	1,017,285
投資その他の資産	409,966	447,576
固定資産合計	1,114,076	1,970,437
資産合計	5,642,494	6,336,247
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,918	5,514
未払金	532,779	584,144
未払費用	20,533	29,064
未払法人税等	271,294	323,811
未払消費税等	206,158	106,199
賞与引当金	103,022	168,185
その他	40,349	122,898
流動負債合計	1,179,056	1,339,817
固定負債		
役員株式給付引当金	93,298	101,365
退職給付に係る負債	—	19,926
長期預り保証金	27,007	29,863
その他	15,408	125,893
固定負債合計	135,714	277,048
負債合計	1,314,770	1,616,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	376,512	302,144
利益剰余金	3,924,734	4,391,209
自己株式	△343,468	△341,063
株主資本合計	4,322,058	4,716,571
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,532	2,809
その他の包括利益累計額合計	2,532	2,809
非支配株主持分	3,132	—
純資産合計	4,327,724	4,719,381
負債純資産合計	5,642,494	6,336,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	3,738,971	4,760,682
売上原価	2,440,807	3,089,791
売上総利益	1,298,163	1,670,890
販売費及び一般管理費	666,698	802,459
営業利益	631,465	868,430
営業外収益		
補助金収入	18,914	26,256
保険解約返戻金	—	12,083
その他	2,876	1,382
営業外収益合計	21,790	39,723
営業外費用		
支払利息	1,174	109
為替差損	4,079	570
その他	1,138	—
営業外費用合計	6,392	680
経常利益	646,863	907,473
特別利益		
移転補償金	4,463	—
固定資産売却益	—	726
特別利益合計	4,463	726
特別損失		
固定資産売却損	—	236
固定資産除却損	11,593	146
特別損失合計	11,593	383
税金等調整前四半期純利益	639,732	907,816
法人税、住民税及び事業税	219,370	351,712
法人税等調整額	16,638	△13,253
法人税等合計	236,009	338,459
四半期純利益	403,723	569,357
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,933	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,656	569,357

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	403,723	569,357
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,399	276
その他の包括利益合計	5,399	276
四半期包括利益	409,122	569,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,055	569,633
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,933	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2020年3月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2021年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	639,732	907,816
減価償却費	39,340	34,656
のれん償却額	24,340	68,919
その他の償却額	—	20,971
受取利息及び受取配当金	△144	△24
保険解約返戻金	—	△12,083
支払利息	1,174	109
固定資産売却損益（△は益）	—	△489
固定資産除却損	11,593	146
売上債権の増減額（△は増加）	△122,846	△7,489
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,946	△1,740
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,172	△1,604
賞与引当金の増減額（△は減少）	14,047	57,835
未払金の増減額（△は減少）	79,417	46,351
未払消費税等の増減額（△は減少）	26,926	△104,661
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	12,063	8,067
その他	△26,510	△47,486
小計	698,910	969,293
利息及び配当金の受取額	111	24
利息の支払額	△1,172	△109
法人税等の支払額	△218,879	△314,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	478,969	654,618
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,262	△10,532
有形固定資産の売却による収入	—	1,507
無形固定資産の取得による支出	△5,649	—
投資有価証券の売却による収入	30,696	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△721,876
長期貸付金の回収による収入	21,179	—
差入保証金の差入による支出	△92,299	△1,455
差入保証金の回収による収入	4,767	500
保険積立金の解約による収入	—	28,346
その他	20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,548	△703,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,537	△1,849
短期借入金の返済による支出	△16,068	—
長期借入金の返済による支出	△60,935	—
配当金の支払額	△92,918	△99,599
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△77,500
自己株式の処分による収入	—	2,488
自己株式の取得による支出	△48	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,507	△176,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,552	△143
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	193,467	△225,578
現金及び現金同等物の期首残高	2,744,699	3,479,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,938,166	3,253,486

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月1日付で、連結子会社である株式会社グレスアベイルの株式を追加取得いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間において、資本剰余金が74,367千円減少しました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金は302,144千円となっております。